

いつでも、どこでも、だれでも、

ピタッと畦(ROW)のど真ん中!!

ビート収穫 異次元の世界!!

ピタッとROWくん

枕地を小さく旋回できるうえ、タイヤを思うままに操作できるので、機体が流されやすい横傾斜のほ場での収穫や土手・枕地などの端の1本の畦の収穫、土場からの脱出やバックも簡単に行える自動操舵機構『ASCS (Automatic Steering Control System)』と、掘り取り中の掘取口を常に畦のど真ん中に合わせてくれるので、トラクターを畦に合わせて走らせるだけでビートをこぼさず掘り取れる自動畦合わせ機構『AROT (Automatic Row Tracer)』やコンベヤの自動ON・OFF機構『COOS (Conveyor On Off System)』、掘り取り口中立復帰機構『ACTRES (Auto Center Return System)』を装備のため、トラクターの運転に専念できるビート収穫の第一人者「ピタROWくん」シリーズ。  
 いつ(どんな気象条件)でも、どこ(さまざまなほ場条件)でも、だれ(ベテランはもちろん、初めての方や経験が浅いなど運転に不慣れなオペレーター)でも、ピタッと畦(ROW)のど真ん中!! … ビートをこぼさず楽チン収穫。  
 『ビート収穫 異次元の世界!!』を提供いたします。



多収量地帯での  
ノンストップ・高速収穫作業をサポート

680TURBOピタッとROWくん

仕切り板間容積が従来モデルの1.34倍と大きい大径・ワイドのロータリーバケット。掘り上げたビートをスムーズにタンクまで運搬するコンベヤ速度と周辺構造により、肥大したビートが多い・栽植密度が高いなど、多収量地帯のほ場におけるノンストップ・高速収穫作業を強力サポート。



# バツグンの操作性!

## ASCS Automatic Steering Control System

タイヤ操作には【全自動】・【半自動】・【手動】の3つのモードがありますが、【全自動】モードのままでも【半自動】・【手動】操作が行えるので、ほとんどモードを切り替える必要がありません。そのうえ、『中立復帰』ボタンを押せば、タイヤがどの方向を向いていても、モードに関係なく簡単に直進状態に戻すことができます。さらに、【全自動】モード時の操作レバーによる手動操作は、【手動】モード時よりも細かに動作するので、より微妙な角度調整ができます。



『中立復帰』ボタン



# コンパクト・軽量・取付自在

コンパクトで軽量なうえ、無段階に角度調整ができる操作ボックスは、マグネット式取付面のため、水平・垂直どちらにも対応しており、最適な状態でトラクターにセットできます。しかも、付属の吸盤付操作ボックス台を使用すれば、ガラス面への取り付けもできます。



水平取付状態



垂直取付状態

# 安心して掘り取り作業に専念

## 《掘り取り深さ検知・停止検知》

検知ボックスが、掘り取り作業中のハーベスターの掘り取り深さ、ロータリーバケット・送りコンベヤの停止、掘り取り開始時のコンベヤの回転状態を検知して、光や音で知らせてくれます。オペレーターは、後ろを気にしなくても運転席からハーベスターの状態を確認できるので、安心して掘り取り作業に専念できます。

検知ボックス



操作ボックスに取り付けた状態※

※あくまでも取り付けの一例です。検知ボックスは、個別にお好みの見えやすい位置に取り付けることができます。また、取り付け専用の吸盤・プレートも付属しております。

### 掘り取り深さ検知

5段階のランプ点灯で掘り取り深さを知らせてくれます。クリーナーがビートを叩く音や勘に頼ることなく簡単に掘り取り深さを察知でき、常に一定の深さを維持できるようになります。また、深さの基準はほ場条件に合わせて簡単に変更できます。



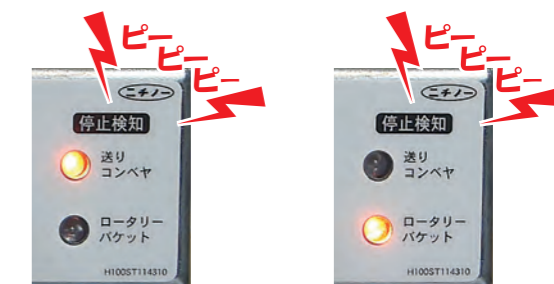
『深さプリセット』ボタン  
基準の深さを簡単に設定変更できます

掘り取り深さ 浅い ← 掘り取り深さ 適正 → 掘り取り深さ 深い

### 送りコンベヤ停止検知

#### ロータリーバケット停止検知

掘り取り作業中のロータリーバケットや送りコンベヤ部の停止は、オペレーターからは気づきづらいものです。しかし、検知ボックスが、これら2か所の回転を常に監視し、停止すると音とランプの点滅で知らせてくれます。すぐに停止を察知できるので、トラブルの早期解消につながります。



送りコンベヤ停止

ロータリーバケット停止

### 掘り取り開始時のPTO・コンベヤ回し忘れ検知

PTOやコンベヤが回っていないのに掘り取りを開始してしまうというミスを防いでくれます。PTOが回っていなかったり、コンベヤが回っていなかったりした状態のまま、掘り取りを開始してしまうと、音とランプの点滅で知らせてくれるので、回し忘れをすぐに察知できます。



# より**高速!** より**確実!!** より**快適!!!**

## 茎葉、土砂分離性能をしっかりと継承、さらに土砂の付着も軽減!!

内部構造の見直しにより高速作業でも回転部の耐久性が向上し、タッピングされた茎葉、ビート頭部に残った茎葉もしっかりとクリーニングする「調整自在前クリーナー 2×8 (①)」。耐久性に優れた15インチウェーブコルターとダブルコンベヤによりスムーズにビートを飲み込む掘取口(②)。耐磨耗、耐久性に優れ、浅く掘れるのでけん引抵抗も小さい「浅軽フレキシブルショベル(③)」。第1コンベヤ部で土砂・茎葉の量を大幅に削減する「斜カットレール&丸曲げフレーム(④)」。土砂や茎葉をしっかりその後部へ排出する「パフォーマンスロッド・ドロッド付第2コンベヤ(⑤)」。穴の大きな仕切り板で湿った土の付着が少ない「プレスケルトンロータリーバケット(⑥)」。これらの連携により、抜群の土砂・茎葉分離性能で、タンクに運ばれる量も少ないという性能はしっかりと継承しております。

さらに、『680&433 TURBO ピタROWくん』では、タンク排出側の格子部の面積拡大とエクステンション(あおり)に穴が追加されており(⑦)、タンク内部への土砂の付着が軽減され、より安心してダンプアップ作業ができます。



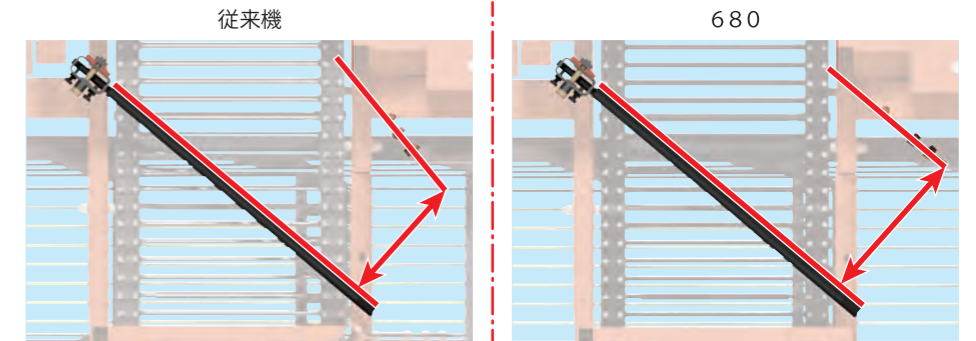
# 680 TURBO PITAROW 多収量地帯での高速作業・高能率化を実現

## ★多収量地帯における高速作業に適応したコンベヤ速度

第1コンベヤの速度は、肥大したビートが多いほ場や密植してビートの株数が多いほ場など、多収量地帯における収穫でも、スムーズにビートを掘り上げます。

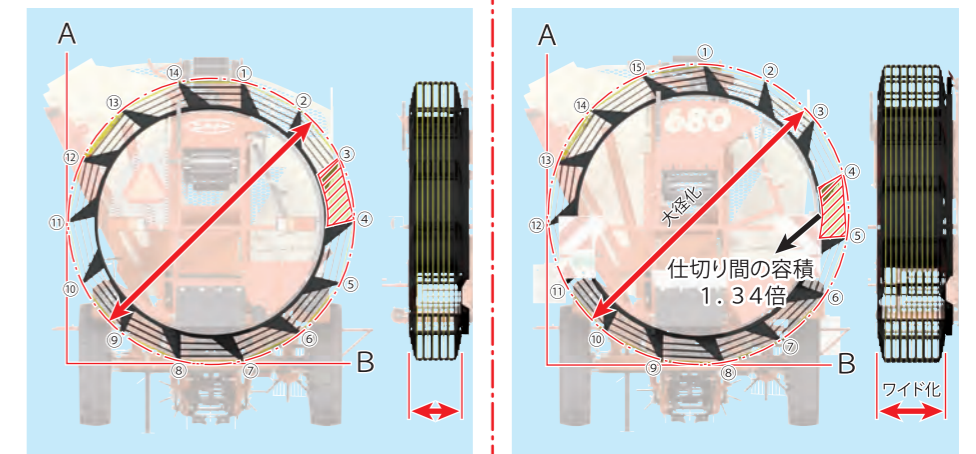
## ★第2コンベヤからロータリーバケットへスムーズに運搬

第2コンベヤからロータリーバケットへの排出スペースが広く、ビートがよりスムーズに運ばれます。



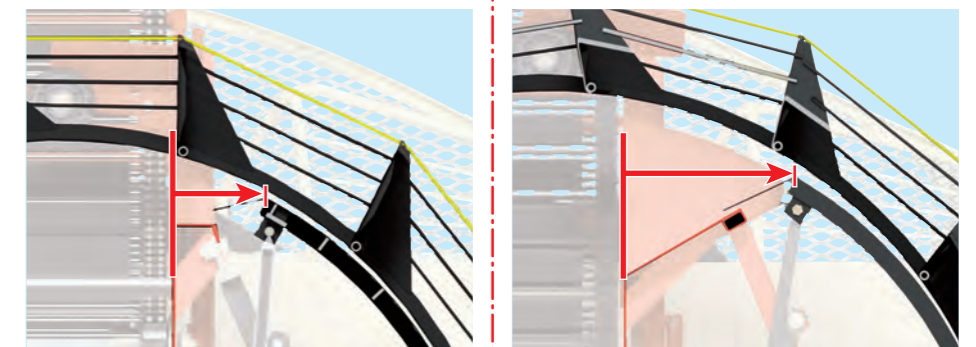
## ★大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット

大径・ワイドで仕切り間容積が従来の約1.34倍のプレスケルトンロータリーバケットは、多収量地帯のビートでも容積に余裕があります。また、ダンプ排出側の位置(ラインA)と地上高(ラインB)は従来と変わらないので、今までと同様の感覚でダンプアップができます。



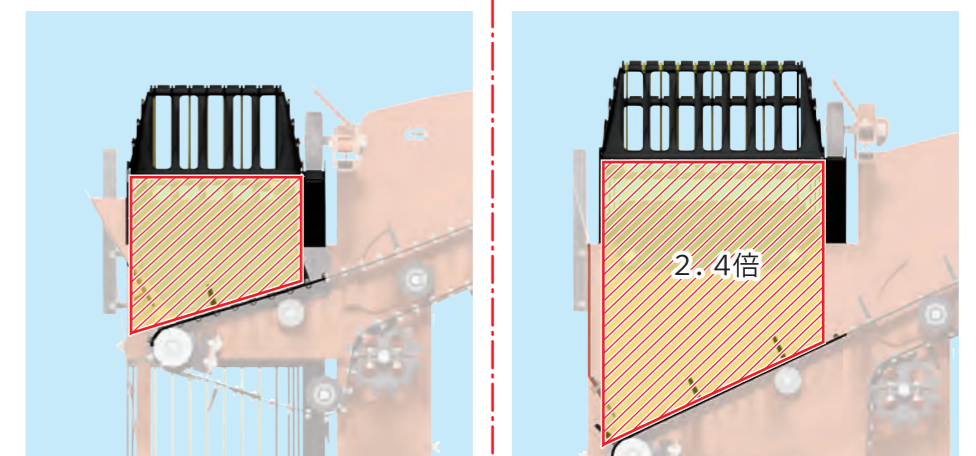
## ★ロータリーバケットから送りコンベヤへスムーズに運搬

プレスケルトンロータリーバケットから送りコンベヤにビートが落ちるタイミングが早くなり、ビートが送りコンベヤを通り過ぎることがありません。



## ★送りコンベヤのビート落下部の容積増量

プレスケルトンロータリーバケットから送りコンベヤ部へビートが落下する場所の容積が約2.4倍で、大量のビートがロータリーバケットから運ばれてきてもビートがスムーズに送りコンベヤに落下し、さらに、タンクへと運搬されます。

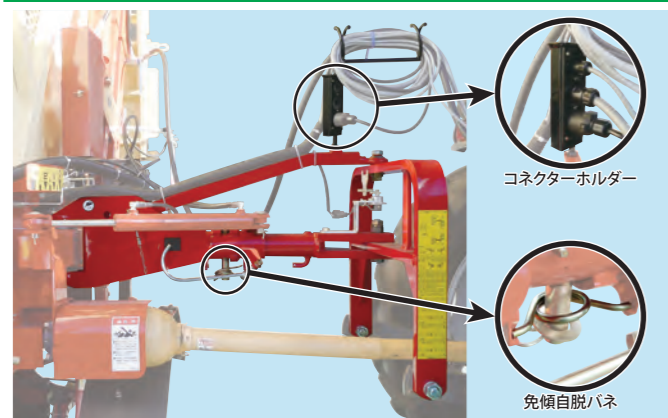


ビートハーベスター  
草刈るチ  
カルチベーター  
カルチアタッチメント  
鎮圧ローラー  
マルチャー

ビートハーベスター  
草刈るチ  
カルチベーター  
カルチアタッチメント  
鎮圧ローラー  
マルチャー

さまざまなトラクターにマッチング

● 免傾自脱バネ付長さ調整式ヒッチ (特許)



トラクターによってローリンクの長さが異なるため、ヒッチの長さも変える必要がありますが、使用するトラクターに合わせて簡単に調整することができます。また、「免傾自脱バネ」がドローバーを水平に保つので、トラクターへの取り付けも簡単に行えます。そのうえ、ハーベスターの駆動に不可欠な広角ジョイントと一緒に格納できる「PTOジョイントハンガー」、操作ボックスなどに接続するコネクターやケーブル、油圧ホースを収納できる「コネクターホルダー付きケーブル・油圧ホースホルダー」も装備しております。

茎葉の量に合わせてしっかりとクリーニング

● 調整自在前クリーナー 2×8 (特許・意匠)

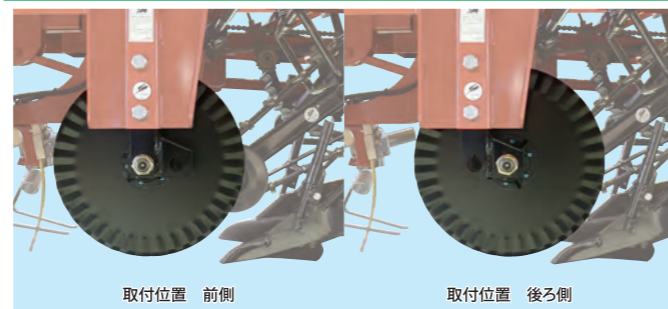


オートチェーンテンショナー内蔵で、チェーンがたるむ心配はありません。またクリーナーゴムは、ボルト4本を外すだけで簡単に8本を交換できるドーナツ型座金を用いた固定方式です。なお、クリーナーゴムには、カドにちょっとだけ丸みをつけてビートをいたわりながら処理をするソフトタイプと、先端部での威力を20%アップすることで処理能力が20%以上向上したハードタイプの2種類がございます。4本をハードタイプ、4本をソフトタイプにするなど、品種(茎葉の量)やタッピング状態、ほ場条件などに合わせてセットできます。

	ソフトタイプ	ハードタイプ
茎葉が少ない	○	○
茎葉が多い	△	○
ビートがグラグラしている	○	△
ビートがしっかりしている	○	○
頭部の茎葉をそぎ落とす	△	◎

ほ場に合わせてコルター位置を変更

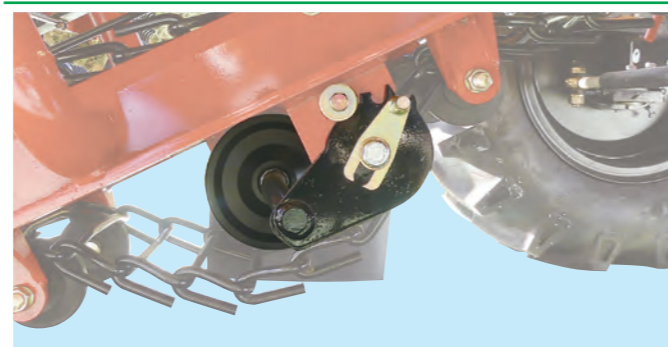
● オフセットウェーブコルター (特許)



掘り取り部の土砂抜けが悪い粘土地などでは、前側の取付位置。コルターとショベルの間から掘り上げたビートがこぼれ落ちる場合は、後ろ側の取付位置。ほ場や作業速度などの条件に応じて、コルターの取付位置を変えることができます。

簡単調整…最適なテンション効果を提供

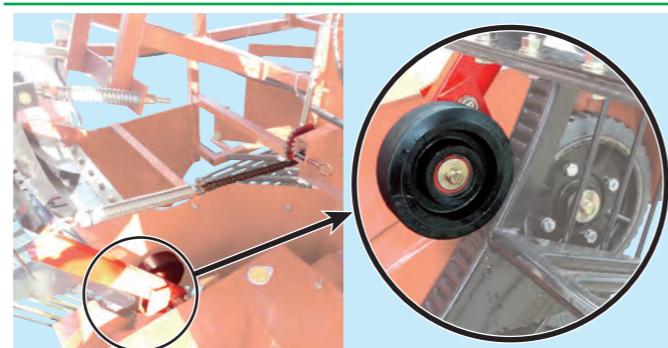
● センターサポートイージーテンショナー (特許)



大きなローラーが、ロッドチェーンの中央部で最適なテンション効果を発揮します。テンション位置の変更方法は、支点ボルトを緩めてテンション止め金具をずらすだけです。飲み込み性能を悪くするロッドチェーンの緩みを、簡単に調整できるようになっております。

ロータリーバケットのスリップ軽減に貢献

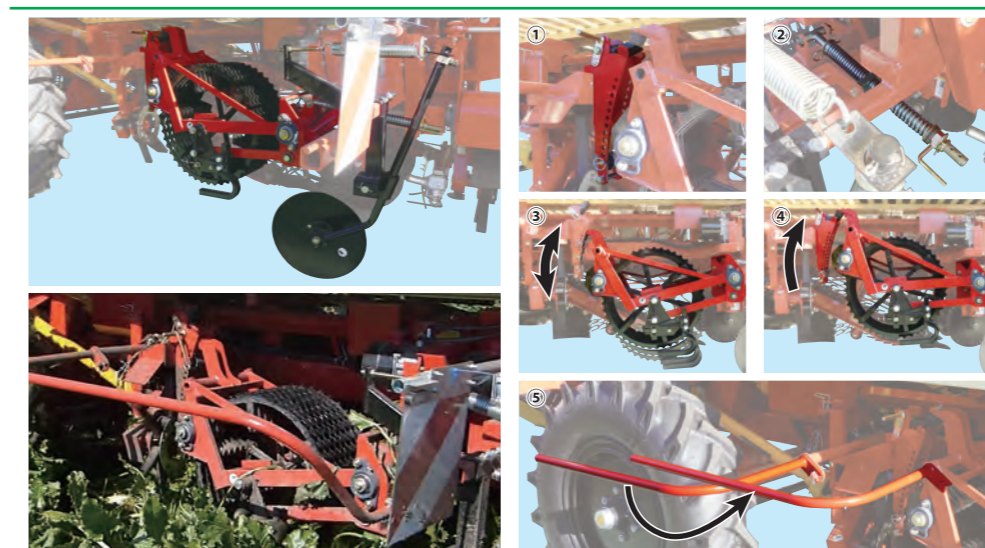
● トルクアジャスター



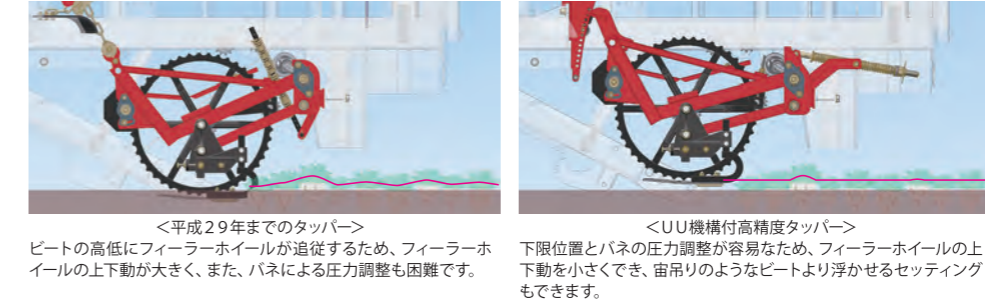
ロータリーバケットの駆動輪の内側から押さえつけるローラーの圧力を変えることで、単純な2WD方式より3~4倍の伝達トルクを伝えることができ、ロータリーバケットのスリップを軽減することができます。

浮かせて薄切り 理想のタッピング

● UU機構付高精度タッパー (特許)

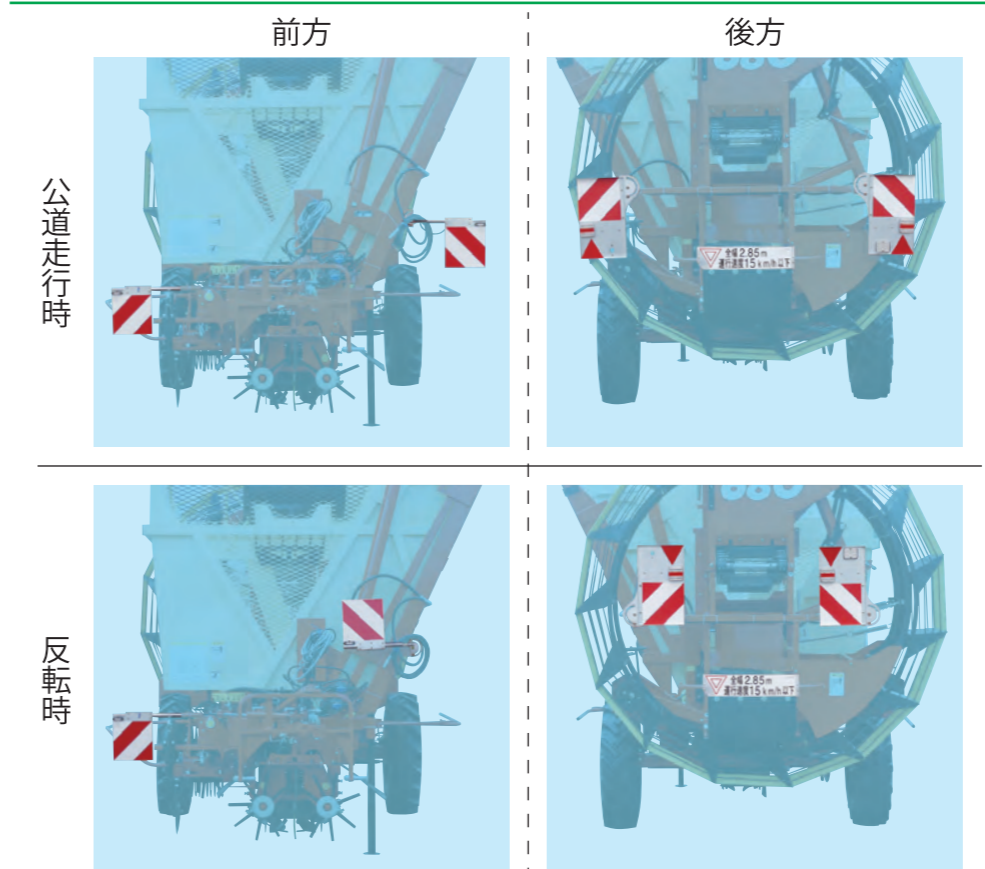


平成29年までのタッパーとUU機構付高精度タッパーを比較



安心・安全な公道走行と収穫作業

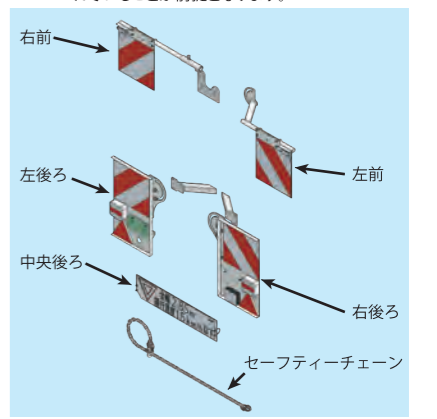
● 公道走行対応部品



ビートのトップを薄く切りたいがフィーラーホイールの高さを思うように調整できない、バネによる切り厚さ調整が難しい、理想の薄切りになかなかならない、タッパー付ビートハーベスターにあるこれらの問題を解消します。独自のUU機構により、タッパーの下限位置を12段階に設定でき(①)、フィーラーホイールをビートより浮かせる宙吊りのようなセッティングが簡単に行えるうえ、バネによる切り厚さ調整も簡単に行えます(②)。ですから、フィーラーホイールの無駄な上下動を最小限に抑えることができ、理想の薄切り、お好みのタッピング厚さに簡単に調整することができます。そのうえ、タッパーの位置調整(③)や使用しない状態にする場合(④)も、付属の安全ガードを専用工具として使用できるので(⑤)、その場で簡単に変更することができます。駆動方式などは従来のそのままに、理想の薄切りを追求した高精度のタッパーです。

所定の手続きをとれば、トラクターに農業作業機械を装着して公道走行をすることができます。ピタROWくんも公道走行対応部品\*1を標準で装着しておりますが、反転が可能なので作業やメンテナンスの邪魔にならない親切設計となっております。また、トラクターのバック信号に連動してバックブザーが鳴るようになっておりますので、作業時などでバックをするときに、周囲へ注意喚起をすることができます\*2。

\*1: ヒッチ部に取り付けるセーフティーチェーンも含まれます。  
\*2: トラクターのコネクター部にバックの配線がされていることが前提となります。



図はLタイプ用

# 土場に降ろすビートを見事な連携でやさしくまもる いたわりバン & ふまんガード



やさしく、高く積み上げます。

## ● いたわりバン

(取付費別途)



土場にビートを荷降ろしするときの落差を軽減し、ビートへのショックをやわらげつつ、高い山を形成します。しかも、ゴムを多用した本格派仕様です。そのうえ、タンクとの“運動”⇄“固定”の切り替えは、レバー操作で簡単に行えます。

土場のビートを踏まずに脱出

## ● ふまんガード(特許)

(取付費別途)



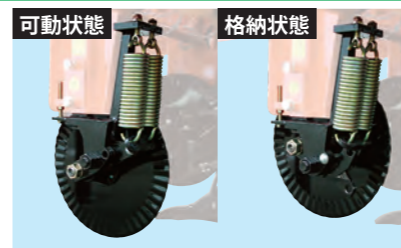
土場にビートを降ろしてから脱出するとき、ハーベスターのタイヤで大切なビートを踏んでしまう、せっかく一生懸命育てたビートが土場に埋もれてしまう…、割れてしまう…、そんな不満を解消してくれます。タンクを上げると下がり、下げると上がる…、シンプルだけど画期的なアイテムです。非常に丈夫ですが、土場に降ろしたビートを踏まないようやさしくいたわります。しかも、ガード本体はハーベスターより外に出ないので、タンクに連動のままでもダンブ受けができますが、ピンの差し替えて簡単に“運動”⇄“固定”の切り替えが行えます。さらに、ガード本体は、前方の開閉のほか、水平にも開閉できるので、掘取口周辺のグリースアップやロッドチェーンの張り調整、掃除の際に邪魔になりません。

石れき地帯の強い味方

Dual Spring Shock Absorb

## ● DSSAコルター

(取付費別途)



石れき地帯特有の“石でコルターが割れる”という悩みを解消してくれます。計算し尽くされた2本のバネとリンク機構により、どんなに硬い畑でもしっかりと土を切り、石がある場合のみ、衝撃から逃げてコルターを護ります。また、端の1本の収穫のときは、ロックボルトを緩めることなく、ピン1本を差し替えるだけで、簡単にコルターを可動状態から格納状態に切り替えることができます。

重粘土地で一層の土砂分離

## ● ローラーデフレクター

(取付費別途)



重粘土地帯でより一層の土砂分離・茎葉処理能力を発揮いたします。高速回転のローラーと、「パフォーマンスロッド・ドロッ付第2コンベヤ」とのコンビネーションで、強制的に土砂分離・茎葉処理を行います。また、ローラーにはゴムを焼き付けているので、ビートへのいたわりもバッチリです。

シングルクリーナーでは物足りないという方に…

## ● サイドペアクリーナー 2×6(特許)

(取付費別途)



掘り取る前のビートの茎葉処理不足は、飲み込み不良の原因となります。サイドシングルクリーナーよりもクリーナーゴムが4本多い12本のため、つぎに掘り取る畦のビートの茎葉をしっかりとクリーニングすることができるので、掘り取る時に茎葉が気になりません。茎葉の量が多い品種のビートでもヘッチャラです。

トラクター後方の視界良好

## ● タンク前網スクリーン



収穫したビートがタンクに運ばれたとき、タンク前側の網にぶつかったビートの破片や汁がトラクターのリアウィンドウを汚して視界が悪くなりますが、この『タンク前網スクリーン』を取り付ければ、破片や汁の飛散を防いでくれるので、リアウィンドウからの視界は常に良好!! しかも取り付けは、付属のケーブルタイで固定するだけです。

**ニチノー LX-680T**  
7.7 m<sup>3</sup>タンク・左ダンプ式、タッパー付



**ニチノー LX-433T**  
4.5 m<sup>3</sup>タンク・左ダンプ式、タッパー付



**ニチノー RX-680**  
7.7 m<sup>3</sup>タンク・右ダンプ式、タッパー無



**ニチノー RX-433**  
4.5 m<sup>3</sup>タンク・右ダンプ式、タッパー無



■ 装備一覧

●=標準装備 △=注文装備(別途料金が発生いたします)

	LX-680T	RX-680	LX-433T	RX-433
<b>■ ヒッチ系統</b>				
免傾自脱バネ付長さ調整式ヒッチ (ケーブル・油圧ホース・コネクターホルダー、PTOジョイントハンガー付)	●	●	●	●
<b>■ 動力伝達系統</b>				
PTO広角ジョイント	●	●	●	●
安全クラッチ付ジョイント	●	●	●	●
コンベヤクラッチ (アンローディングセンサー付)	●	●	●	●
<b>■ 掘り取り系統</b>				
浅軽フレキシブルショベル	●	●	●	●
オフセットウェーブコルター (1.5インチ)	●	●	●	●
DSSAコルター (1.5インチ)	△	△	△	△
<b>■ コンベヤ系統</b>				
ロッドチェーン・センターサポートイージーテンショナー	●	●	●	●
フローティングサポート補助コンベヤ (オートテンショナー、コンベヤ磨耗軽減装置付)	●	●	●	●
パフォーマンスロッド・ドロッダ付第2コンベヤ (コンベヤ磨耗軽減装置付)	●	●	●	●
片持ち式いたわり格子ロッドデフレクター	●	●	●	●
ローラーデフレクター	△	△	△	△
大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット (トルクアジャスター・脱着防止装置付)	●	●	●	●
プレスケルトンロータリーバケット (トルクアジャスター、脱着防止装置付)			●	●
ナイスキャッチプレート			●	●
フルフローティングキャッチングプレート (スタッフィングラバープレート付)	●	●	●	●
石抜きロッド付送りコンベヤ (コンベヤ磨耗軽減装置付)	●	●	●	●
<b>■ クリーナー系統</b>				
調整自在前クリーナー 2×8 (オートチェーンテンショナー付)	●	●	●	●
サイドシングルクリーナー	●	●	●	●
クリーナーゴム(ソフト)	●	●	●	●
クリーナーゴム(ハード)	△	△	△	△
サイドベアクリーナー 2×6		△		△
<b>■ タッパー系統</b>				
UU機構付高精度タッパー	●	●	●	●
安全クラッチ装置	●	●	●	●
後期用ナイフシステム	●	●	●	●
ディスクコルター (1.4インチ)	●	●	●	●
タッピングナイフ (2枚)	●	●	●	●
<b>■ 足廻り系統</b>				
超大径20インチラグタイヤ	●	●	●	●
<b>■ 電気系統</b>				
小型軽量・取付角度自在操作ボックス (マグネット付)	●	●	●	●
検知ボックス (マグネット付)	●	●	●	●
ASCS	●	●	●	●
AROT	●	●	●	●
ACTRES	●	●	●	●
COOS	●	●	●	●
<b>■ タンク系統</b>				
7.7 m <sup>3</sup> 部分ブラックアウトメッシュタンク (自動折り畳みエクステンション、オートマチックシャッター付)	●	●	●	●
4.5 m <sup>3</sup> 部分ブラックアウトメッシュタンク (自動折り畳みエクステンション、オートマチックシャッター付)			●	●
いたわりネット・いたわりマット	●	●	●	●
いたわりバン	△	△	△	△
ふまんガード	△	△	△	△
タンク前網スクリーン	△	△	△	△
<b>■ 付属品・その他</b>				
工具箱・標準工具	●	●	●	●
取扱説明書	●	●	●	●
駐車スタンド・駐車ブレーキ (輪止め式)	●	●	●	●
公道走行対応部品	●	●	●	●

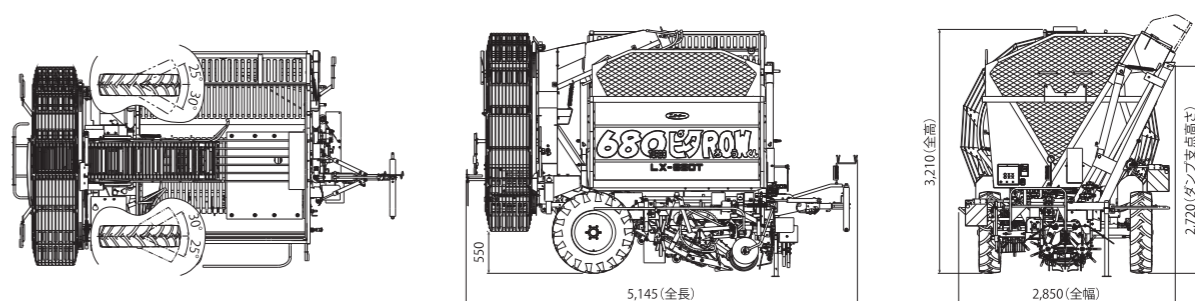
■ 主要諸元

		ビートハーベスター ビタROWくん			
		ニチノ LX-680T	ニチノ RX-680	ニチノ LX-433T	ニチノ RX-433
品名	ビートハーベスター				
愛称	ビタROWくん				
型式					
規格	1 畦				
適応トラクター(kW(PS)以上)	51{70}		44{60}		
カテゴリ	II				
装着方法	トラクターけん引式				
全長(mm)	5,145				
全幅(mm)	2,850	2,920	2,810	2,880	
全高(mm)	3,210		3,030		
重量(kg)	2,935	2,775	2,585	2,425	
作業畦幅(mm)	600~660,690		600~690	600~660,690	
タッピング機構	フィーラーホイール形式	スケルトンタイプ		スケルトンタイプ	
	フィーラーホイール幅×直径(mm)	246×556		246×556	
	スクレッパー形式	多角形回転板式		多角形回転板式	
	動力源	右タイヤ		右タイヤ	
莖葉処理機構	サイドシングルクリーナー*1 + 調整自在前クリーナー 2×8 (オートチェーンテンショナー付)				
掘り取り機構	2ポイントショベル				
畦合わせ機構	AROT				
ステアリング機構	ASCS				
使用電源	DC 12ボルト				
掘り取りコンベヤ	センターサポートイージーテンショナー付ロッドチェーン+補助コンベヤ				
上昇コンベヤ	トルクアジャスター付 大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット + 送りコンベヤ		トルクアジャスター付 プレスケルトンロータリーバケット + 送りコンベヤ		
排出機構	左ダンブ		右ダンブ		左ダンブ 右ダンブ
タンク容量(m <sup>3</sup> )	7.7		4.5		
ダンブ支点高さ(mm)	2,720		2,660		
満タン排出時所要油圧(MPa{kgf/cm <sup>2</sup> })	16{160}		15{150}		
ダンブアップ所要時間*2(sec)	12.1		10.0		
タイヤ	サイズ	10.00-20 10PR			
	空気圧(kPa{kgf/cm <sup>2</sup> })	290{3.0}		250{2.5}	
作業速度*3(km/h)	~15.8		~15.1		
作業能率*4(a/h)(効率*3)	~68(65%)		~50(50%)		

\*1: Rタイプは、サイドベアクリーナー 2×6が注文装備です。\*2: トラクター油圧吐出量が毎分3.5リットルのときの理論値であり、トラクターの種類によって変化いたします。\*3: 作業条件、現場条件などの条件により変化いたします。\*4: 畦幅660mm、設定作業効率時の理論値であり、条件により変化いたします。

■ 寸法図

ニチノ LX-680T



ニチノ LX-433T

